

平成 17 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫  
コード番号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 宮脇 真樹  
(TEL 03-5485-1340)

## 平成 18 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 17 年 8 月 4 日の「平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)」発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 18 年 3 月期 単体中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	515	60	37
今回修正予想(B)	640	190	96
増減額(B-A)	125	130	59
増減率(%)	24.3%	216.7%	159.5%
前年同期実績(平成 17 年 3 月期)	431	47	42

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

#### 2. 平成 18 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	565	85	36
今回修正予想(B)	668	167	71
増減額(B-A)	103	82	35
増減率(%)	18.2%	96.5%	97.2%
前年同期実績(平成 17 年 3 月期)	—	—	—

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

3. 平成18年3月期 単体通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,100	200	106
今回修正予想(B)	1,300	334	178
増減額(B-A)	200	134	72
増減率(%)	18.2%	67.0%	67.9%
前年同期実績(平成17年3月期)	893	137	128

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

4. 平成18年3月期 連結通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,200	255	109
今回修正予想(B)	1,400	334	178
増減額(B-A)	200	79	69
増減率(%)	16.7%	31.0%	63.3%
前年同期実績(平成17年3月期)	—	—	—

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

5. 修正の理由

当社の主力事業であるセキュリティ事業において、企業向け製品では企業のインターネットを通じた情報漏洩対策が積極的に開始され、その対策機能を有する当社製品への需要は非常に高まっております。これに加え平成17年7月にリリースした新バージョン「i-FILTER Ver.6」に搭載した独自の情報選別技術、「ZBRAIN(ジープレイン)」【特許第3605343号】やいくつかのオプション製品が当社製品へのユーザーからの安心感を獲得し、特に新規売上が好調に推移し前年同期に比べほぼ2倍の案件数を獲得する見込みです。

公共向け製品においても、セキュリティ重視型総合サーバシステム「コミュニケーションサーバシステム」を主軸に堅調に売上が推移しております。さらに家庭向け製品では、子どもをインターネット上の有害情報から守るため、政府による「IT安心会議」の開催や各自治体における「青少年育成条例」内での対策などがフィルタリングソフトの認知度を向上させる結果となり、こうした環境の変化を背景とし平成17年7月の新バージョン「i-フィルター 4」リリース時の初回販売本数は前バージョンリリース時に比べ2倍以上となりました。あわせて、青少年育成条例を受けインターネットカフェや漫画喫茶などの不特定多数の人が利用するようなインターネット接続環境でのフィルタリングを実現すべく「i-フィルター for ネットカフェ」の開発を完了し、その販売を開始いたしました。

こうしたことにより、前回発表した連結業績予想を大きく上回る見込みとなり、あわせて通期では累積損失を全廃し黒字へ転換を見込んでおります。

6. 今後の見通し

当社グループの全体的な今後の見通しの詳細につきましては、平成17年11月上旬発表予定の「平成18年3月期 中間決算短信(連結)」にてご報告してまいります。

(注)

1. 当社は、平成17年3月1日より連結対象となる株式会社アイキューエスを子会社としておりますが、平成17年3月期の決算には財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため、平成17年3月期の連結の数値は記載しておりません。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本発表数値につきましては速報値でありますので、決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上